

涼風苑 認知症短期集中リハビリ 指示書・評価・計画立案・支援経過 書(例)

利用者情報

氏名:	S 氏	生年月日	昭和〇年 〇月 〇日 生	年齢	74歳	介護度	3
心身機能障害:	ペースメーカー埋入・左大腿骨頸部骨折(人工骨頭)・心肺停止後蘇生・アルツハイマー						
日常生活自立度 (A2かB1):	車いす介助・ウォーカー介助・失見当のため誘導・排泄誘導介助						
認知症生活自立度 (IIIaかIV):	失見当・記憶の混乱・不安・不穏・時に尿失禁・会話がかみ合わない						

涼風苑主治医意見書 指示書

診断名:	アルツハイマータイプ認知症・心肺停止による脳機能不全 合併症:心不全・左大腿骨折		
病歴:	70歳時 物忘れ・気分の変動・昼夜逆転 あり 71歳時 T大学病院神経内でアルツハイマー認知症疑いアリセプト 72歳 転倒急性硬膜下血腫(血腫ドレナージ1週間入院) 73歳時転倒 左大腿骨頸部骨折(人工骨頭)・8月入浴中溺れ 心肺停止(ICU 3日) 9月22日当苑入所 服薬:アリセプト・抑肝散・		
HDS-R	12/30	認知症状況	帰宅願望強いが自宅認識あいまい。失見当識・不穏・不眠・介護抵抗
上記の診断 評価を持って 認知症短期集中リハビリの必要性を認め 指示する 印 医師			

認知症 評価・リハビリ 記録

認知症短期集中リハビリの総合方針 記居移動が不安定。不穏・安全配慮出来ず、転倒のリスクが高いです。バランス・歩行機能を改善しつつ、生活動作の安全自立を目指します。まずは涼風苑内で自室やトイレが解り、なじみのスタッフや友人が出来て、生活のリズムが整うことを目指します。落ち着いて過ごせるように ご家族の心配がなくなるように ご家族と一緒に考えてまいります。

項目	利用開始時 21年 9月 22日より	2か月目 11/3 居室移動 203へ	3ヶ月目 短期集中 12月 21日まで
HDS-R	12/30点 (9/25)	なじみのUさん・Tさんと談笑	自室とホールをスムーズに移動。夫の面会に落ち着いて応じられた。家族と外出
MMS	11/30点 (10/5)	時計を読み、日課を推測	HDS-R 15/30点
症状・特記	季節・月・自宅住所言えず 名前書けるが 旧姓	なじみの人と同室に・トイレ自立 支援下で家族に電話	
アレンの認知自立度 出来ている事	自立度(3.2~3.4) 食事は自分で食べるが途中で不穏あり。トイレへ誘導されれば排泄・後始末可能	自立度(3.8~4.0) トイレの場所が解り日中は排泄自立・友人と談笑し入浴・テレビ歌番組を20分楽しめる	自立度(4.0~4.6) 自主的に着替えようとする。電話をかけてあげれば娘に欲しいものを伝える
個別認知リハ課題	ストレッチしつつ交流。筋支持性強化・立位バランス。茶話会での回想。カード3~5枚のマッチング。スポーツ吹き矢。カレンダー作り。	自己ストレッチ・立位バランスリーチボードペグの並べ替え。カード簡易七並べ・かるた。スカットボール。書道。集団製作。友人と誘いあって茶話会。長女とともに茶話会参加。	ストレッチ・バランス活動はOTS、ケアスタッフとともに。応用歩行、屋外歩行。家族写真等コーラージュ・神経衰弱(2分の1カード)。かるたの読み手。写文・ネット手芸。家族と外出。
ねらい	なじみの関係づくり。リハビリして家に帰るとい認識支援。体力づくり。見当識・ナラティブな支援。歩行安定。	なじみの友人・なじみの場での安心、活動。知的賦活。記憶機能賦活。見当識・ナラティブな支援。家族との関係再構築。歩行拡大。	排泄・入浴の安全自立。がお出自の応用動作の安定。在宅ベースのケアへ向けた模索。知的賦活。精神機能活性化。
反応	不安・不穏・帰宅念慮から少しづつ会話に応じ、朗らかさが	ウォーカー自立。カレンダー、時計を見る。かるたの枚数を意識。	春になったら家に帰る。という認識。ゲームを楽しむ。
心理状況 コミュニケーション	会話がかみ合わず。夜間不穏、興奮あり。朝方うとうと。	日中友人と談笑。スタッフや友人の名前を覚えようとする	苑内では安定。会話がある程度可能で、認知不全の認識出る。
生活場面での 支援	不穏時特定のスタッフが一緒に過ごす。眠剤の使用。	日時、予定を繰り返しオリエンテーション。活動誘導。	春には家に帰ろうを繰り返しオリエンテーション
その他	認知症短期集中リハビリテーション3回/週を短期集中個別機能訓練3回/週と併用・一体化しての展開が望ましい。転倒・離苑に注意、ご家族にも協力をお願いしましょ 主治医 ○○		